

令和4年度第1回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和4年4月26日（火）午後1時～3時 桑名市役所 3階第2会議室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：4名 事務局：8名
議 事 次 第	1. 園・学校における医療的ケアの取り組みについて 2. 部活動のあり方について 3. その他
要 旨	<p>1. 園・学校における医療的ケアの取り組みについて 事務局より資料に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分身ロボット（おりひめ）を活用することで、自宅や病院からおりひめを操作し、手を挙げて意見を発表したりして友達と一緒に授業に参加している。 ⇒おりひめの首の向きを自由に変えて教室の様子を見ることができる。反対にズーム等とは異なり、自分の姿を友達に見られることがないのでベッドの上でも安心して授業を受けられる。 ・医療的ケア児が増えてきており、看護師と学校で役割分担をしっかりとしつつも連携を行う必要がある。 ・医療的ケア児が入学する数年前（幼少期の頃）から、入学に備えて情報を共有し、その都度、看護師の募集を行い配置している。 ⇒看護師の確保は難しく費用もかかるので、予算的なことも含めて研究及び検討を進めていくことが必要。 ・入学される保護者の方は、今まで幼少期からずっと付き添いケアを行ってきたので、小学校入学を機に周りの友達と一緒に過ごしてほしい、自分の手を離れて自立も促したいという意見が多く、将来的に自分でインスリン注射ができたり、管理ができるように看護師とこの先どのようなケアをするかを話し合っている。 ⇒令和4年度より巡回看護師を導入し、文部科学省の学校における医療的ケア実施体制構築事業を活用し、看護師配置校に対し巡回看護師が定期的に巡回し、子どもや保護者が安心できる、より質の高い安全な医療的ケアを目指すとともに園・学校看護師の勤務改善に向けての取り組みを進める。 <p>2. 部活動のあり方について 事務局より資料に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に部活動在り方準備委員会を立ち上げ、令和5年度に桑名市の中学校における部活動（スポーツ、文化、科学等に関する教育活動）の適正な運営の推進を検討する部活動在り方検討委員会を設置するための検討を行う。 ・部活動は先生の献身的な働き方により成り立つ仕組みであり、特に土日の勤務時間については今後見直しを検討する必要がある。

- ・休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保等として、令和4年度に部活動指導員を配置し、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を進める。
- ・少子化に伴い野球などチーム編成に多くの人数が必要なスポーツは複数の学校が合同でチーム編成を行う必要が生じてくるため、地域移行を含めて検討していく必要がある。
- ・文部科学省がいう部活動の意義、位置づけと意義みたいところで、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等との記載があるので、費用のかからない誰でもできるかたちで部活動はあってもらいたいし、中学校へ行ったらこれがやりたいなという希望を叶えてあげたい。地域移行という点では人材や費用の問題があると思うが、外部から来てもらって専門的な指導をしていただいたり、土日は教職員が同行することなく単独で引率してもらうなど今後の部活動のあり方について研究する必要がある。

3. その他

事務局より、次回の予定について連絡

(以上)